

10 今年度の学力向上に向けた取組の成果と課題

【「釧路市学校改善プラン」における3つの視点からみられる成果と課題】

	取 組 内 容 (○成果、●課題)
〈視点1〉 授業づくり	<p>【成果と課題】</p> <p>○学習の導入時の課題提示、終末時に振り返りを行うことで、基礎的・基本的な学習内容の定着が図られた生徒が多くいた。</p> <p>○特に数学科において、習熟度別少人数指導やTT、補充指導や個別指導を通して、困難さを抱えている生徒に対してきめ細かな指導を行うことができ、基礎的・基本的な学習内容の定着が図られた。</p> <p>●授業の中で、思考場面や自らの言葉で振り返る等の場の設定をしたものの、「書くこと」に対して苦手意識を持つ生徒が依然として多い。</p> <p>●基礎的・基本的な学習事項の定着に課題を抱えている生徒が依然として多くいるとともに、活用に課題がある。</p>
〈視点2〉 環境づくり	<p>【成果と課題】</p> <p>○放課後学習、モーニングテストなど、学習内容を補充・進化するための学習機会を設定することで、基礎的・基本的な学習の定着が図られた生徒が多く見られた。</p> <p>●学び（特に学習習慣）の9年間の連続を図るための小中連携の一層の推進を図る必要がある。</p> <p>●特に、困り感を抱えている生徒に対する教育相談の充実を図るための組織的な取り組みが必要である。</p>
〈視点3〉 習慣づくり	<p>【成果と課題】</p> <p>○学級での家庭学習ノートの提出の呼びかけなどを通して、望ましい学習習慣の定着が図られている生徒が多く見られる。</p> <p>○学級担任を中心として、生活リズムチェックシートを活用して、定期的に生活習慣の把握を行い、それをもとに教育相談を行うことで、生徒の意識啓発を図ることができた。</p> <p>●望ましい生活習慣の確立を図るために、よりいっそう保護者との連携を図るとともに、学校からの情報発信を進めていくことが必要である。</p>

【今年度の目標に対する達成状況から見られる各学年の成果・課題】

	【国 語】	【数 学】
1 学年	<p>【成果・課題】 「漢字を読む」、「文法（文節、単語）・語句（歴史的仮名遣い、故事成語）に関する知識」については、正答率が高く、1、2学期に積み重ねてきたことの成果が出ていると言える。「説明文の内容を読み取る」の中の「要旨を捉える、構成や展開を捉える」という選択肢の問題が正確に読むことができていないために、選べていないことが課題である。「書くこと」については「三段落構成で書く、指定された文字数で書く」という条件に基づいて書くことができていない。</p> <p>【今後の改善点】 「読むこと」については、説明文において段落ごとに要旨を書き、全体を見通して構成を考えてまとめるという作業を積み重ねていく。「書くこと」については、条件がついた短作文を書く機会を増やし、訓練していく。</p>	<p>【成果・課題】 正負の数の加法や簡単な1次方程式の解き方、用語の習得など先に見える問題は正答率が高く、成果が現れている。 数量の関係を等式や不等式で表すことに課題がある。 関数では、グラフの座標と式の x、y が対応することに課題があり、正答率が低くなっている。</p> <p>【今後の改善点】 授業での学習ルールに慣れ、授業へ主体的に取り組み、思考する生徒が増えてきた。今後も、学習規律、家庭学習の習慣の定着を意識し指導し、自信と集中力をつけていきたい。</p>
2 学年	<p>【成果・課題】 ほぼ全国平均と同じ正答率になったことが成果であるが、1年生時の既習事項の文法問題（文節の関係）について課題がある。</p> <p>【今後の改善点】 高校入試にも出題される「小学校時の漢字の書き」や「1年生時の文法」など、授業の中で日常的に復習をしていくのは難しいが、学期のまとめの時間などに意識して復習を取り入れていく。</p>	<p>【成果・課題】 落ち着いて前向きに問題に取り組むことで、知識や計算技能を身につけてきた。文章問題を連立方程式で表すこと、関数での増加量の意味の理解に課題がある。また、図形での証明を最後まで完成させることに課題がある。</p> <p>【今後の改善点】 今後も授業で提示する問題を大切にし、取り組ませることで、知識や技能を定着させていきたい。</p>
3 学年	<p>【成果・課題】 「書くこと」にも積極的に挑戦する生徒が増え、無答率が減っていることは成果である。ただ、まとめを考えずに書き、制限字数を超えることができなかつたり、逆に意見がまとまらず、条件の字数に入らなかつたりするなどまだまだ「書くこと」には課題も残る。</p>	<p>【成果・課題】 知識にかかわることでは、数量の関係を文字式を用いて表すことに課題がある。 活用にかかわることでは、グラフから具体的な事象を捉えること、情報を分類整理することに課題がある。 モーニングテストや、授業での思考場面の設定で、知識の習得、問題の意図を理解し取り組む姿勢はついてきたことは成果である。</p>